

2025 年度上智大学体育会サッカー部OB幹事会議事録

1. 開催日時 : 2025 年 7 月 26 日 (土) 11:30~12:35

2. 場 所 : ソフィアンズクラブ A 会議室
Web 開催

3. 参加者 (敬称略、() 内は卒年):

中迫 (77)、桑江 W (88)、山崎、松本 W (89)、神尾 W (90)、西村、内野 W (05)、山野 (06)、田島 (4 年)
澤田 (87)

4. 議 題

1. OB 会支援活動の進捗状況について

(1) 支援状況について

- ・ 澤田から以下の説明があった。
 - ① 幹事の皆様からの声掛け、現役のOB訪問再開の効果もあり大幅に支援が増加した。6 月の口座振替が完了し支援実績は 1,928 千円に達し、年間目標の 200 万円に近付いている。
 - ② 特殊要因もあり、今後の安定支援のためにも、口座振替の申込を中心に引き続き支援者数 200 名達成を目指したい。2011 年以降卒業の世代は伸びしろが大きい。
 - ③ 引き続きメルマガ等で呼びかける。また 11 月ころ、ソフィア会会報誌ならびに未来募金の依頼の配布があり 12 月に支援があるが実績は来期分になる可能性が高い。
- ・ ASF の懇親会に 50 代のOBを中心に声を掛け、久々に大人数で顔を合わせる機会になった。これを機に手厚く支援いただいたOBもあり、集まることは効果的。ロータリークラブの例では、10 年くらいの世代ごとに年 1 回集まる仕組みができている。一番上の世代のときに全世代が集まるようにしているので、ASF の懇親会がそういう位置づけになると良い。今年は、60 代、50 代と 2 世代で懇親会ができた。参加者からも年に 1 回はやりたいとの意見も多かった。次は 40 代、30 代と裾野を広げてゆけると良い。(山崎副会長)
- ・ 40 代も個別には集まっているので、一緒に汗をかいた前後の世代で検討してみたい。(西村OB、山野OB)

(2) OB 会活動について (前回幹事会以降)

澤田から以下の報告があった。

- ・ 5 月 25 日 (日) ASF グランドコンディション不良のためゲームは中止。
16 時からの懇親会は前述のとおりOB間、86 卒~90 卒中心に、OB 25 名が参加。現役幹部 4 年生、次期幹部候補 3 年生も参加し大変盛り上がった。
- ・ 6 月 14 日 (土) 体育会OB会総会、松本幹事長、榎原OB、森OB、桑江OB、小濱OBにご参加いただいた。
- ・ 7 月 5 日 上南戦 フロントタウン生田で実施。
OB 戦ならびに南山大学OBを交えた懇親会を実施。

2. 現役の活動報告

4 年生の田島君よりリーグ戦、上南戦に関して以下の報告があった。

(1) リーグ戦

12 節を終了して、現状は 1 位。2 位成城大学とは勝ち点 1 差しかない。現在はオフで、8 月 6 日から練習を再開する。8 月 20～23 日は合宿を予定しており、残り 6 節に備えてしっかり走りこむこと、前半戦の反省を踏まえ決定力をあげることに重点を置く。

(2) 上南戦

去年は PK 勝ちだったが、今年は残念ながら PK 負けだった。

澤田から補足で、南山は現在東海学生リーグ 1 部。リーグ戦では得点力不足に苦しんでいるが、3 点とも素晴らしい得点で、試合内容は勝るとも劣らない試合。引かない相手には十分攻撃が通用することを証明していたとの説明あり。

(3) 現役への質疑

Q：けが人は発生していないか。

A：ついでにの質問に対し、DF でリーダー格の佐藤くん（4 年）が負傷。後半戦の出場は厳しいが復帰すべくリハビリ中。

Q：真田堀 G はどれくらいの頻度で使っているのか。

A：月、水、土曜日は使える状況ながら、週 2 回程度、外部の人工芝のグラウンドが確保できないときに使うという対応。

山崎副会長から、真田堀の人工芝化は遅々として進まない。どこに聞いても、主体的に動きが見えてこない。

大学側のやる気が感じられない。（中迫 O B）

春の O B 会長会では遺跡調査を今年実施と聞いており、全く前進していないわけではない。秋の O B 会長会で一つのテーマとして議論できるよう、O B 会長会事務局に伝える。（澤田）

Q：4 年生の就職活動は。

A：概ね確定しているが、一部最終決定していない。

Q：O B からの支援はどのように使われているか。

A：主には外部のグラウンドの使用料に充てている。ビブスを新調した。また、おかげさまで今年は現役の部費が月 1 万円から 6 千円に抑えられており、O B の支援に心から感謝しています。

3. その他

(1) 社会人帯同の謝礼金について

- ・ 中迫 O B から、監督以外の社会人帯同者への謝礼金を支払うことについて提案があった。
- ・ 交通費とは別に 3,000 円を謝礼金として支払うこと。また実施時期を今期のリーグ戦初戦まで訴求扱い（対象者は 2 名）とすることで、全員異議なく承認となった。
- ・ 帯同スタッフの層が薄いことには問題意識をもってほしい。また、今後の状況を見ながら金額は修正することもありうることにしたい。（澤田）

(2) 今後の予定

- ・ リーグ戦は 9 月第 1 週から再開予定。成城大学戦あたりを集中応援日にしたい。正式に日程が分かったらアナウンスする。
- ・ O B 会長会 11 月 2 週か 3 週の予定。真田堀 G の人工芝化に向けた動きをテーマに加えてもらよう、澤田から事務局に依頼する予定。
- ・ マラソン大会 12 月 20 日（土）
- ・ 次回幹事会 9 月 20 日（土）の予定。場合によって、文書の回覧のみとする可能性あり。
- ・ 最終の 11 月 29 日（土）は、次期活動と予算の話もあり、極力参加してほしい。

(3) その他質疑・意見等

① OB訪問の際の、現金の手渡しの件

- ・ OB訪問の際に支援金額と受領金額の不整合が発生した事例があった。現金の手渡しは厳重に取扱わないと支援を止めてしまうOBが出る懸念がある。顛末はどうなったのか。(西村OB)
- ・ OB訪問では、現役が訪問したOBと受領金額を中迫監督に速やかに報告する。現役が口座(募金口)に入金し、中迫監督から会計に連絡し、会計が確認している。不整合の事例は、後日正しい金額で口座に入っていることを確認した。コロナで一時期OB訪問も中断し、今年は本格的に再開することができた。まだ不慣れな面もあったが、コロナ前も含めて、こうした不整合は起きていない。(中迫OB)
- ・ OB訪問は希望するOBも多いので、現役との交流の場という意味でも今後も続けてゆくべき。(多数)

② その他ご意見等

- ・ 遠方のOBは参加が難しいがOB交流は望ましい。幹事の櫻井さんが、私のお店に数回訪問してくれ感激した。現役には熱中症に注意して頑張ってもらいたい。(神尾OB)
- ・ OB訪問での現金の取り扱いは、透明性を確保して今後も続けてほしい。また個別にOB同志で会う機会はあるが、是非とも世代間の交流は実施したい。子供の年齢によって、家族の理解を得るのが難しい年代もあるが、前向きに考えたい。(内野OB)

以上